

第16回ちゅら眼科懇話会

謹啓

時下、先生方におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は弊社製品に関しましては格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さてこの度、下記のテーマにて、学術講演会を開催させて頂く運びとなりました。

つきましては、万障のお繰り合わせの上、何卒、ご参加賜りますようご案内申し上げます。

謹白

日時

2024年12月14日(土)

19:00~20:00

会場

ダブルツリー by ヒルトン那覇首里城

沖縄県那覇市首里山川町1-132-1

TEL: 098-886-5454

製品紹介 19:00-19:10

HOYA株式会社 メディカル事業部

『HOYA Vivinex Gemetric について』

特別講演 19:10-20:00

座長 古泉 英貴 先生 (琉球大学大学院医学研究科 眼科学講座 教授)

演者 ^{にのみや}二宮 さゆり先生 (^{いたみ}伊丹中央眼科 ^{いんちよう}院長)

演題 「開業医が主役！近視抑制治療 ~今とこれから~」

1970年代頃より地域や人種に関係なく、世界的規模で近視人口の急増が始まりました。近視割合が最も多いといわれる東アジアでは既に若者の90%が近視と推測されていますが、もはやアフリカも例外では無くなっており、近い将来、全人類の50%が近視になると予測されています。近視の増加は強度近視の増加にもつながるため、近視由来の重篤眼疾患の増加が真剣に懸念されはじめています。近視進行の要因や対処方法については、長らく動物モデルの基礎研究の段階が続きましたが、ここ数年で目覚ましく臨床応用に結び付きはじめてきました。本講演では、近視抑制治療に関する世界的トピックス、日本における治療の現状と今後の展開(予想です)。自身のクリニックで実践している近視抑制治療についてもお話させて頂こうと思います。

近視由来の重篤眼疾患を減らすには、何よりも予防医療がキモとなります。日常診療で多くの近視学童を診ている我々開業医こそが、その重要なミッションを担っているのだと共感して頂けるような講演になれば幸いです。

略歴

1991年 3月 大阪大学医学部卒業
1991年 9月 大阪急性期・総合医療センター 麻酔科・ICU
1994年 7月 多根記念眼科病院 眼科
1995年 10月 住友病院 眼科
1999年 1月 ニュージャーシー医科歯科大学 研究員
2005年 3月 大阪大学大学院 感覚機能形成学 卒業
2005年 6月 伊丹中央眼科 開設



* 講演会終了後に情報交換会を予定しております。

* 誠に申し訳ございませんが、本会におきましては旅費の負担が出来ません事をご了承下さい。

主催 HOYA株式会社 メディカル事業部